

小泉大臣の気候変動外交（UNFCCC交渉）

- ◆ UNFCCC交渉プロセスにて国家ステートメント、全体会合を通じ**日本の意見を積極的に発信**
- ◆ 閣僚級会合ではパリ協定6条のファシリテーションを任される等**合意に向けCOP25チリ議長を支える**
- ◆ 議場においても最後まで各国の閣僚と意見を調整するなど**日本の新たな気候変動外交を示す**

日付 大臣の出席イベントと発言概要

12/11 (水) ①**国家ステートメントでの発信**
日本の5年連続GHG排出削減実現やネットゼロ宣言自治体の増加、日本の脱炭素化のコミットや緑の気候基金(GCF)への資金拠出等の我が国の貢献を発信



①国家ステートメント (ロイター)



②議長ストックテイキングプレナリーにおける発言 (IISD/ENB)



議長ストックテイキングプレナリーの会場 (IISD/ENB)

12/13 (金) ②**議長ストックテイキングプレナリー (大臣発言)**
第1版の議長テキストが出てきたことを踏まえ、本テキストをベースに議論を進めるべきとの前向きな発言を行う



③6条閣僚級会合 ファシリテーションを行った (環境省)



④インフォーマルストックテイキング (IISD/ENB)
左: スペイン・リベラ環境保護大臣 中央: チリ・シュミット環境大臣

12/14 (土) ③**パリ協定6条閣僚級会合のファシリテーション**
6条に関する主要国(中国、ブラジル、印、サウジアラビア、エジプト、EU、スイス、日本)が参加。大臣はファシリテーターとして議論の取りまとめに尽力

12/15 (日) ④**インフォーマルストックテイキングでの調整**
⑤**クロージングプレナリーでの発信**
積極的に議長や関係国閣僚級と意見を調整



⑤クロージングでのチリ・シュミット環境大臣との議論 (ロイター)



⑤クロージング間際のブラジル・サレス環境大臣との議論 (ロイター)



UNFCCC エグゼクティブ・ディレクターとの議論 (IISD/ENB)